

- 問1 日本とオーストラリアの貿易関係について、オーストラリアから輸入される鉄鉱石の性質と背景を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 化学工業におけるプラスチックの原料となり、パイプラインを通じて積み出し港まで運ばれる。 | 2. アルミニウム製品の原料であり、精錬に多量の電力を必要とするため、現地で加工してから輸入される。 | 3. 火力発電の主な燃料として利用され、近年は環境負荷の低減を目的として輸入量が増加している。 | 4. 鋼鉄を生産するための主原料として利用され、広大な露天掘りの鉱山から効率的に産出される。 |
|--|--|---|--|
- 問2 アルゼンチンを流れるラプラタ川の流域に広がる、平坦な地形を活かして大規模な牧畜が行われている広大な草原地帯を何というか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. リャノ | 2. カンボ | 3. パンパ | 4. セルバ |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 オーストラリア東岸に位置するタウンズビルの気候データにおいて、気温の折れ線が年間を通じて20度以上を維持し、1月や2月の降水量が300ミリメートル近くに達する一方で、7月や8月の降水量が極端に少ないという特徴が見られます。この地域の季節と降水量の関係について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 北半球に位置するため、冬季にあたる1月や2月に降水量が集中している。 | 2. 地中海性気候の影響を受けるため、夏季にあたる1月や2月に降水量が著しく減少している。 | 3. 南半球に位置するため、夏季にあたる1月や2月に降水量が集中している。 | 4. 南半球に位置するため、冬季にあたる7月や8月に降水量が集中している。 |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 オーストラリアの輸出について、1960年には輸出総額の約4割を羊毛が占めるなど農産物が中心でしたが、近年では輸出の主力品目が大きく変化しています。2020年の統計において、鉄鉱石や石炭といった品目が輸出額の上位を占めている状況を表す言葉として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-----------------|------------------|------------------|
| 1. 牛肉や小麦などの農産物 | 2. 衣類や木材などの軽工業品 | 3. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源 | 4. 自動車や半導体などの機械類 |
|----------------|-----------------|------------------|------------------|
- 問5 オーストラリア南東部にある都市の気候統計を分析すると、1月の平均気温が20度を超えて最も高く、6月から8月にかけては15度以下まで下がっています。また、降水量は年間を通じて極端な乾季がなく、各月50ミリメートルから100ミリメートル程度で安定しています。この地域の気候特性と地理的条件の説明として正しいものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 赤道に近い熱帯に属するため、一年中高湿多湿であり、1月に最も降水量が多くなる。 | 2. 南半球に位置するため日本とは季節が逆になり、温帯に属するため一年を通じて一定の降水が見られる。 | 3. 北半球の温帯と同様の季節変化を示すが、南東貿易風の影響で夏にのみ降水が集中する。 | 4. 乾燥帯に属しているため、気温の変化に関わらず年間を通じて降水量は極めて少なく、常に乾燥している。 |
|--|--|---|---|
- 問6 オーストラリアの人口構成の変化をまとめた統計において、かつてはイギリスなどヨーロッパ系移民が大部分を占めていましたが、近年では中国やベトナム、インドなどからのアジア系移民の割合が急増しています。このような背景のもとで、異なる背景を持つ人々が互いの伝統や生活習慣を認め合い、一つの社会を構成しようとする考え方を何と呼びますか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|---------|----------|
| 1. アパルトヘイト | 2. 排他的経済水域 | 3. 白豪主義 | 4. 多文化主義 |
|------------|------------|---------|----------|
- 問7 南アメリカ大陸の西側にあるアンデス山脈や日本列島周辺は、火山活動や地震が非常に多い地域として知られています。これらの地域に共通する地理的背景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|----------------------------------|
| 1. 大陸の中央部に位置しており、数億年以上前から安定した地盤が続いているため | 2. 古生代の造山運動によって形成された後、長期間の浸食を受けて平坦になったため | 3. プレートが左右に広がる境界に位置し、海底から新しい地殻が次々と生まれているため | 4. プレートの境界付近に位置しており、地殻運動が活発であるため |
|---|--|--|----------------------------------|
- 問8 オーストラリア大陸の東側に位置するグレートディバイディング山脈の地形的特徴とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 氷河による浸食を強く受けたフィヨルド地形が連続しており、海岸線から急激に標高が上がる複雑な地形を成している。 | 2. 環太平洋造山帯の一部であり、現在も活発な火山活動によって山脈の標高が高くなり続けている。 | 3. 古期造山帯に分類され、長い年月をかけて浸食を受けたため、標高が比較的低くならかな山筋が続いている。 | 4. 新期造山帯に分類され、プレートの境界付近に位置するため、標高4000mを超える険しい山々が連なっている。 |
|---|---|--|---|
- 問9 発展途上国の都市部において、急激な人口集中によって生じる居住環境の課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 都市化が進む一方で、伝統的な生活様式を維持するために、すべての住民が定住を拒否して移動式テントで生活している。 | 2. 都市への人口集中を解消するため、政府が遊牧などの伝統的な移動生活に戻るよう国民に義務付けている。 | 3. 十分な所得や住居を確保できない人々が、都市周辺にスラムと呼ばれる生活環境の劣悪な地域を形成することがある。 | 4. 急速な工業化によって都市の労働力が不足したため、伝統的な住居を解体して高層住宅に建て替えることが法律で禁じられている。 |
|--|---|--|--|
- 問10 ブラジルでは、広大な熱帯林が減少していることが深刻な環境問題となっています。この森林破壊が進んでいる主な背景として、適切な説明はどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 沿岸部の人口をすべて内陸部に移住させるため、アマゾン全域を住宅地として整備しているため | 2. 経済発展を目的として、地下資源の鉱山開発や、大規模な牧場・農地の造成を行っているため。 | 3. 二酸化炭素の吸収量を増やす目的で、古い熱帯林を伐採して新しい苗木を植える「植林活動」を国全体で推進しているため。 | 4. 自然環境を保護するために、外資系企業の参入を禁止し、伝統的な小規模農業を推奨しているため。 |
|--|--|---|--|
- 問11 オーストラリアにおける1900年代初頭から2010年代半ばまでの移民の出身地域に関する統計では、当初はヨーロッパ出身者が圧倒的でしたが、1970年代以降はアジア出身者の割合が急増しています。このような変化が生じた背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 白豪主義が撤廃され、地理的に近いアジアなどヨーロッパ以外の地域からの移民を積極的に受け入れるようになったため。 | 2. アジア諸国との経済的な対立が深まったことで、労働力不足を解消するためにヨーロッパからの移民のみを優先し続けたため。 | 3. ヨーロッパ諸国における人口減少の影響により、オーストラリア政府がヨーロッパからの移民を禁止し、アジアに限定したため。 | 4. オセアニア地域の近隣諸国からの移民が人口の過半数を占めるようになり、アジアからの移民を制限する法律が制定されたため。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 鋼鉄を生産するための主原料として利用され、広大な露天掘りの鉱山から効率的に産出される。	鉄鉱石は鉄鋼業における最も重要な原料であり、石炭（原料炭）とともに高炉に投入されて鉄が生み出されます。オーストラリアは古期造山帯などの安定陸塊が広がっており、地表付近に鉄鉱石が豊富に存在するため、大規模な露天掘りが可能です。日本にとっては、地理的に比較的近く、供給が安定しているオーストラリアは最大の輸入相手国となっています。
問2	答え 3 パンパ	ラブラタ川流域に広がる温帯の草原は「パンパ」と呼ばれます。ブラジル北部のAmazon川流域に広がる熱帯雨林である「セルバ」や、オリノコ川流域の「リャノ」と区別して覚える必要があります。19世紀から大規模な牧畜が発展したことで知られています。
問3	答え 3 南半球に位置するため、夏季にあたる1月や2月に降水量が集中している。	オーストラリアは南半球に位置しているため、北半球にある日本とは季節が逆転します。そのため、1月や2月は夏季（夏）にあたります。タウンズビルのようなオーストラリア北東部は熱帯や亜熱帯の影響を強く受け、気温が高い夏季に降水量が集中し、冬季にあたる7月や8月には乾燥するという、明確な雨季と乾季のサイクルを持っています。
問4	答え 3 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源	1960年代のオーストラリアは、イギリスなどとの結びつきから羊毛を中心とした農産物の輸出が経済を支えていました。しかし、その後の世界的な工業化、特に中国をはじめとするアジア諸国の経済発展に伴い、工業原料となる鉄鉱石やエネルギー資源である石炭の需要が急増しました。これを受けて、現在のオーストラリアの輸出構造は農産物中心から鉱産資源中心へと大きく転換しています。
問5	答え 2 南半球に位置するため日本とは季節が逆になり、温帯に属するため一年を通じて一定の降水が見られる。	オーストラリアは南半球に位置しているため、北半球にある日本とは季節が逆転します。そのため、統計上では1月頃に最高気温を迎え、7月頃に最低気温となる曲線を描きます。また、南東部は温帯に属しており、雨温図において降水量のグラフが年間を通して極端に落ち込むことなく安定していることから、農業などにも適した気候であることが読み取れます。
問6	答え 4 多文化主義	近年のオーストラリアは、地理的に近いアジア地域からの移民を積極的に受け入れており、国民の約4人に1人が国外生まれという多様な社会になっています。このように、人種や民族の壁を越えて、それぞれのアイデンティティを尊重しながら共に生きる社会のあり方を多文化主義と呼び、教育や公共サービスにおいても複数の言語がサポートされるなどの対応がとられています。
問7	答え 4 プレートの境界付近に位置しており、地殻運動が活発であるため	アンデス山脈や日本列島は、環太平洋造山帯という大きな変動帯の一部に属しています。海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むなどのプレート運動によって、巨大なエネルギーが蓄積され、それが火山の噴火や地震、急峻な山脈の形成へとつながっています。これに対し、地震や火山がほとんどないアフリカ大陸やオーストラリア大陸の大部分は安定陸塊と呼ばれます。
問8	答え 3 古期造山帯に分類され、長い年月をかけて浸食を受けたため、標高が比較的低くならかな山筋が続いている。	グレートディバイディング山脈は、古生代の造山運動によって形成された「古期造山帯」に属します。ヒマラヤ山脈やアンデス山脈のような「新期造山帯」と比較すると、形成されてからの期間が非常に長いため、風雨による浸食が進んでいます。その結果、最高峰のコジアスコ山でも標高は2228mにとどまり、全体としてなだらかな起伏の山地となっています。
問9	答え 3 十分な所得や住居を確保できない人々が、都市周辺にスラムと呼ばれる生活環境の劣悪な地域を形成することがある。	急激な都市化が進む地域では、仕事を求めて都市に集まった人々が適切な住居を得られず、不法に占拠した土地や都市の周辺部に、電気・水道などのインフラが整っていない「スラム」を形成することが大きな社会問題となっています。これは単なる個人の選択ではなく、急激な人口流入という社会現象と、それを受け入れる都市側の準備不足という因果関係によって引き起こされるものです。
問10	答え 2 経済発展を目的として、地下資源の鉱山開発や、大規模な牧場・農地の造成を行っているため。	ブラジルでは、かつてのコーヒーなどの特定の作物に頼る「モノカルチャー経済」から脱却し、工業化や経済発展を目指しています。その過程で、アマゾン川流域などの熱帯林を切り開き、鉄鉱石などの鉱山開発や、輸出用の牛肉を生産するための牧場、大豆などを栽培する農地を拡大させていることが森林減少の直接的な原因となっています。
問11	答え 1 白豪主義が撤廃され、地理的に近いアジアなどヨーロッパ以外の地域からの移民を積極的に受け入れるようになったため。	オーストラリアでは、1970年代に白人以外の移民を制限する「白豪主義」が廃止され、多文化主義へと政策が転換されました。これにより、地理的に近いアジア地域を中心とした、ヨーロッパ以外からの移民が大幅に増加し、現在の多文化社会が形成される要因となりました。当初のヨーロッパ中心の構成から、多様な背景を持つ人々が共生する国家へと変化しています。